

●静かな公園に響く、鳥のさえずり。

紅葉が終わり木々の葉も落ちて、本格的な冬の到来です。この時期、静けさの中に響き渡るのは鳥たちの鳴き声。公方様の森を中心に、たくさんの鳥の姿を確認できます。てくてくお散歩しながらのバードウォッチングはいかがでしょうか。今回は公園で見られる鳥の一部をご紹介します。

○ 園内のあちこちで見られる「スズメ目」の鳥たち



ハクセキレイ

■セキレイの仲間、ハクセキレイは水辺のヨシに止まって、穂や茎の中の虫を食べたり、二入川で水浴びをしていたりします。陸を歩くとき、尾羽を上下に振る姿がカワイイですよ。セグロセキレイやキセキレイもいますが、縄張り争いで数が減っているようです。



シジュウカラ

■シジュウカラは雑木林や農耕地、公園、住宅地など、全国的にも多く見られる鳥です。お腹の黒い縦線が特徴で、メスと比較してオスは写真のように線が太く、不鮮明で細いのは幼鳥です。2016年3月の総合研究大学院大学の発表によると、単語をつなげて文を作る能力があり、人間に近いコミュニケーションをしているそうですよ。



エナガ

■エナガもシジュウカラの仲間ですが、尾羽まで含めた体長が約14cmほどしかなく、小さな鳥です。他のシジュウカラ科の鳥と混群することもあり、小さな体に似合わず、群れの先導をするそうです。

■冬鳥として渡来するツグミ。よく芝生などでピョンピョン跳ねては止まって餌を探しています。一説には、日本でほとんど鳴き声が聞けない事から、「口をつぐむ」→「ツグミ」と名がついたと言われています。



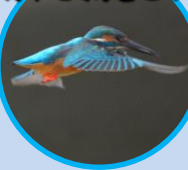
ツグミ

■スズメより少し大きく、枝に止まって尾を回している鳥がいたらモズです。キチキチと高鳴きをして縄張り争いをします。獲った餌を枝などに突き刺しておく「モズのはやにえ（早贄）」という行動をしますが、理由についてはよくわかっていないそうです。



モズ

かわセミはどこ？



なんとなく夏のイメージがあるかわセミですが、留鳥なので冬でも見かけます。マップの◎の辺りで運が良ければ会えますよ。御所沼の水面を飛んでいく鮮やかな姿は「飛ぶ宝石」そのものです。観察、撮影は、警戒させないように、お静かにお願いしますね。



●森のモノマネ王

■スズメ目の中でもカラス科のカケスは、他の鳥の声やチェーンソーなどの音マネが得意。通常は「ジェー、ジェー」と鳴くそうで、そこから「ユーラシアン・ジェイ」という英語名がついています。他の鳥のマネをしていたら、見つけられないかもしれませんね（笑）★印の「駒ヶ崎の森」で会えるかもしれませんよ。



カケス

○ 木を啄（つ）いば）む鳥「キツツキ目」

■みなさんご存知のキツツキ（啄木鳥）の仲間。公方様の森で探してみましょ。アカゲラのオスは後頭部が赤く、写真のように頭部全体が黒いのはメスです。アカゲラの他に、小さくて茶色のコゲラ、オスメスともに頭部に赤が入り、背中が黄緑色っぽいアオゲラなどがいます。木をつつく動作は「ドラミング」といい、1秒に約20回ほどの速さだそう。1回毎に時速25kmで壁に頭をぶつける程の衝撃があるものの、上手に吸収して頭を保護する体の仕組みなんだそうです。特性に合わせて進化する、動物ってスゴイですね！



アカゲラ

◆水鳥などは、またの機会にご紹介します。

●いよいよ寒さもきびしく、冬本番です。てくてく情報、次号もお楽しみに！